



2025年3月14日

各位

会社名 株式会社グローバル・リンク・マネジメント
代表者名 代表取締役社長 金 大仲
(コード番号: 3486 東証プライム市場)
問合わせ先 経営企画部長 竹内 文弥
(TEL. 03-6821-5766)

上場維持基準の適合に向けた計画に基づく進捗状況
(流通株式時価総額) について

当社は、2021年12月20日にプライム市場の上場維持基準への適合に向けた計画を開示しております。2024年12月31日時点における計画の進捗状況等について、以下のとおりお知らせいたします。

1. 当社の上場維持基準の適合状況及び計画期間

2024年12月31日時点におけるプライム市場の上場維持基準への適合状況は、以下のとおり「流通株式比率」は適合となり、「流通株式時価総額」は不適合の状況が継続しました。適合に向けた計画（以下、計画）期間につきましては、従来の計画のとおり「2025年12月末」として、上場維持基準に適合するための各種取組を進めてまいります。

		株主数	流通株式数	流通株式時価総額※2	流通株式比率
当社の 適合状況 ※1	2021年6月30日時点 (移行基準日)	9,891人	27,648単位	24.5億円	35.7%
	2022年12月31日時点	11,720人	28,760単位	32.8億円	36.1%
	2023年12月31日時点	6,674人	26,641単位	57.9億円	33.3%
	2024年12月31日時点	6,462人	28,585単位	72.1億円	35.7%
上場維持基準		800人	20,000単位	100.0億円	35%
適合状況		適合	適合	不適合	適合
適合に向けた計画期間		—	—	2025年12月末	

※1 当社の適合状況は、東証が移行基準日時点で把握している当社の株券等の分布状況等をもとに算出を行ったものです。

※2 流通株式時価総額は、流通株式数に決算期末3か月間における日々の株価最終価格の平均値を乗じて算出しており、2024年（2024年10月1日～12月30日）の日々の最終価格の平均値は、2,525.15円です。

2. 上場維持基準の適合に向けた取組の実施状況及び評価、並びに今後の課題・取組内容

当社は、上場維持基準の適合に向けて、2021年12月20日に公表した「上場維持基準の適合に向けた計画書」（以下、計画書）に対する取組を進めております。各取組の結果として、2024年12月期の算定期間における株価平均値は2,525.15円、流通株式時価総額は72.1億円となり、プライム市場上場維持基準を充たしておりませんが、株価は着実に上昇しております。計画書に記載した課題認識の通り、主要要素である「株価」を向上させるべく、「事業計画の推進による業績の向上」「企業価値向上」に向けた各種取組を引き続き進めてまいります。

なお、2024年12月期決算の公表日以降の「株価」平均値は3,568円、流通株式時価総額は102.0億円※となっております。2024年12月末時点の流通株式比率35.7%を基準とした場合、上場維持基準である流通株式時価総額100億円を超えるための株価目安は約3,500円となりますが、計画書に記載した各取組および2025年中期経営計画「GLM100」を推進し、2025年12月期の経営計画を着実に進めることで基準を充たすことは可能であると認識しており、現時点で計画変更の必要はないものと判断しております。

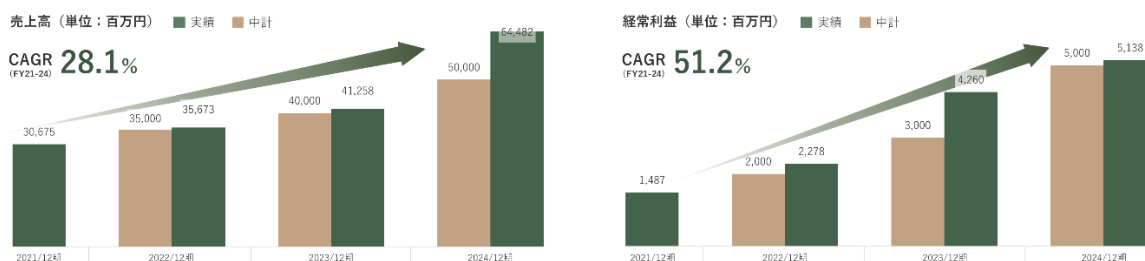
※時価総額285.7億円（2025年2月17日～28日の株価最終価格平均）、流通株式比率35.7%（2024年12月31日時点）より算出。

2-1. 中期経営計画の実行による企業価値向上

（取組状況）

計画書に記載した課題認識の通り、主要要素である「株価」を向上させるべく、2022年中期経営計画における成長戦略を推進した結果、KGIとして掲げた売上高および経常利益において目標を達成し、特に経常利益における年平均成長率は51.2%（2021-2024年）となりました。

2022年中期経営計画実績（単位：百万円・円）



（今後の取組）

2024年11月14日に公表したグループ方針「GLM1000」および2025年を初年度とした2025年中期経営計画「GLM100」（2025-2027年）に基づき、経常利益の年平均成長率25%を目標として中長期的に企業成長を目指し経営を進めております。2027年12月期におきましては経常利益100億円（2024年12月期の約2倍）を目指し、各戦略を進めております。

グループ方針「GLM1000」および2025年中期経営計画「GLM100」の詳細は以下のURLを参照ください。

<https://www.global-link-m.com/ir/plan/>

2-2. 流通株式比率について

(取組状況)

企業価値向上のためには、「株価」及び「売買代金」が課題であると認識しており、上記2-1、および下記2-3から2-6の取組を進めた結果、それぞれ下記のように推移しております。

(株価及び売買代金の推移)

※当社算定期間である各年10~12月

	2021年	2022年		2023年		2024年	
	実績	実績	前年比	実績	前年比	実績	前年比
株価 (終値平均)	998円	1,140円	+14.2%	2,175円	+90.7%	2,525円	+16.0%
売買代金	30百万円	60百万円	+101.0%	224百万円	+269.8%	161百万円	△28.1%

なお、計画書にて「将来的には主要株主による株式の売出しにより、流通株式比率を40%-45%程度に高めることも視野に入れている」と記載しております。流通株式比率について、2024年12月期にそのような取組は実施しておりませんが、流通株式比率増加に向けた取組の検討を継続しております。

(今後の取組)

2025年12月期以降も引き続き、「事業計画の推進による業績の向上」「企業価値向上」による「株価」及び「売買代金」の上昇を第一に取組み、流通株式比率40%-45%程度に増加させるための取組についての検討も継続してまいります。

2-3. コーポレートガバナンスの充実

(取組状況)

当社は、コーポレートガバナンス体制を強化し、経営の透明性と公平性を確保することがステークホルダーの皆様からの信頼に繋がり、企業価値向上にも資するものと考えております。当社グループでは、「GLM VISION 2030」の達成を確実なものとするために、2023年11月に重点的に解決する課題として9つの「マテリアリティ」を特定しましたが、2024年にグループ方針「GLM1000」、2025年中期経営計画「GLM100」を策定したことに伴いマテリアリティの見直しを行いました。

マテリアリティに掲げる「コーポレートガバナンスにおけるモニタリング機能の強化」の取組の一環として、経営の監督と業務執行の役割をより明確にし、意思決定の迅速化及び業務執行の強化を図る新体制を敷き、当該新体制について2025年2月25日に公表しております。

(今後の取組)

当社の持続的な成長と中長期的な企業価値向上のために、コーポレートガバナンス・コードの対応状況についてモニタリングを実施し、コーポレートガバナンス報告書のコンプライ・オア・エクスプレインに関わらず随時更新を行い、コーポレートガバナンスの高度化・充実のための取組を実施してまいります。

2-4. サステナビリティへの取組促進

(取組状況)

中長期的な企業価値の向上には、サステナビリティへの取組促進が必須であると認識し、2023年にサステナビリティ方針を決定、2024年から「サステナビリティ推進部」を設置しております。また、マテリアリティに基づく取組を通じてサステナビリティ経営を実践しております。

(今後の取組)

サステナビリティ経営の実践、マテリアリティに定める目標達成に向けて、担当部門がアクションプランを実行いたします。その進捗状況は取締役会および経営会議にてモニタリングを実施するほか、コーポレートサイトをはじめ各種開示資料によりステークホルダーの皆様にご公表し、市場からの評価向上に繋げてまいります。

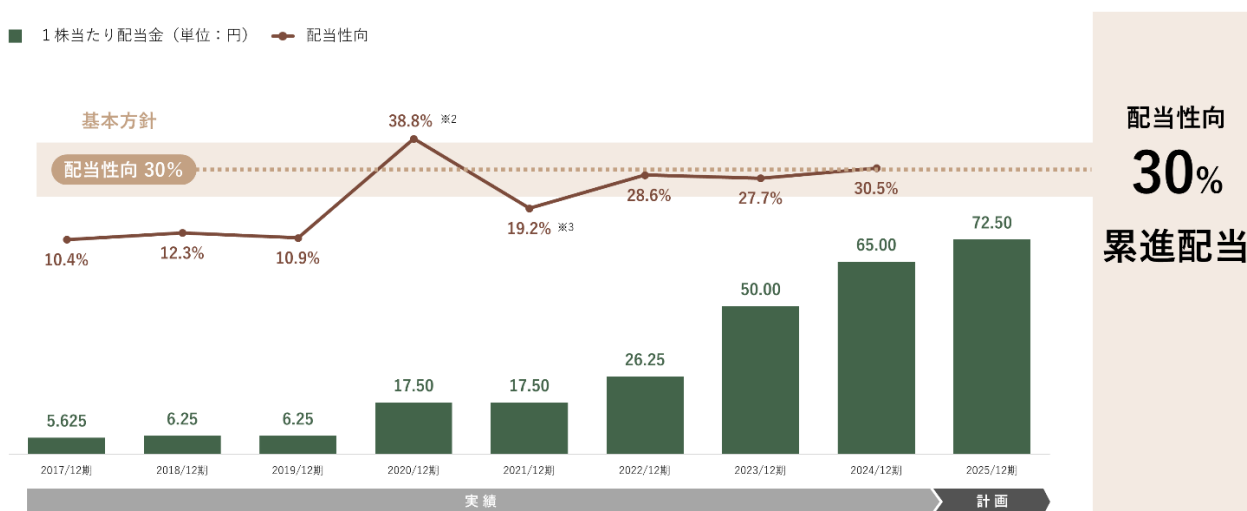
2-5. 配当政策

(取組状況と今後の取組)

剰余金の配当については、以下の配当方針を掲げております。

「安定した配当を継続することを基本とし、事業収益及びキャッシュ・フローの状況を勘案して決定する。配当性向は30%を目標とし、累進的な配当を行う。」

■ 1株当たり配当金（単位：円） ● 配当性向



2-6. IR強化

(取組状況)

IR活動につきましては、四半期ごとの決算説明会（インターネット配信含む）、個人投資家向け説明会等の開催、機関投資家取材の実施により投資家の方々と対話を行い、またプラットフォームサービス等を通じた情報発信を行っております。

特に、自社WEBサイトは投資家にとって重要な情報収集ツールであると認識しており、2025年中期経営計画「GLM100」および「GLM1000」の公表に合わせて、2025年2月にリニューアルを実施しております。また、個人投資家向け説明会については、YouTubeなどを活用した決算速報の配信や会社説明会開催など2024年において計11回実施いたしました。

(今後の取組)

引き続き、英文開示の対象範囲拡大や積極的な情報開示を促進し、資本市場参加者の皆様との個別面談（建設的な対話）機会の増加、コミュニケーションツールの充実化を図り、当社の認知度や注目度が高まるように努めてまいります。

以上